



しなおか

飯田市立竜峽中学校 渡邊 享秀

「自らの人生を切り拓いていく力」をつけた中学生

～めざす生徒の姿に対して、どうであったか～

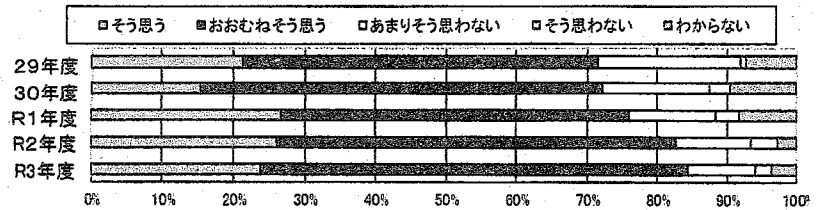


今年度、本校ではめざす生徒の姿を「『自らの人生を切り拓いていく力』をつけた中学生」とし、「1、わかる授業づくり 2、自尊感情、思いやりの心の醸成 3、地域と共に歩む活動」の3つを重点に取り組んできました（本校「グランドデザイン」参照）。

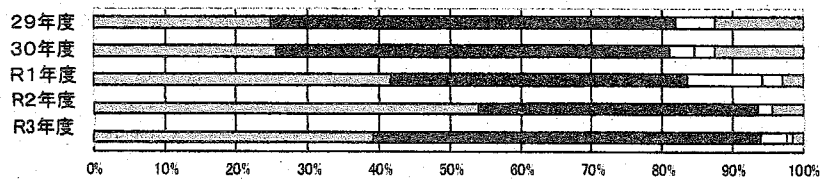
さて、昨年末に行った学校評価アンケート（生徒）の結果から、今年度を振り返りたいと思います。生徒アンケートは全部で14項目ありますが、めざす生徒の姿および重点に関わる項目についていくつかを紹介します。尚、学校評価アンケートは保護者の方々にもご協力をいただきました。ありがとうございました。その集計結果も含めまして、後日あらためて詳細をお知らせします。

① 主体的に学習に取り組んでいる

①は肯定的な回答が増えてきており、嬉しく思います。めざす生徒像の具現に向け、協働的な学習や地域と関わる活動を大切に考え、位置づけてきました。その成果の表れと考えます。地域の皆さまのご協力に感謝します。②は①とも関連すると考えますが、「そう思う」の割合が増えるよう授業改善に努めていきたいと思っています。

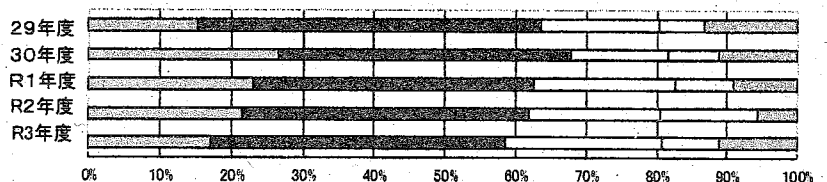


② 学校の授業はわかりやすい



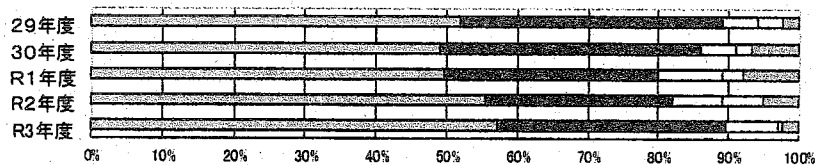
③ 豊かな声量で発表できる力が育っている

「話す力」。これは本校の課題の一つであり、2学期から重点活動として取り組んできました。結果は③の通り低い数値となっています。一方で生徒が自分の「話す力」をより意識した表れでもあると捉えています。「自己肯定感に支えられた発信力の向上」に向けさらに力を入れていきたいと思っています。



④ あなたは楽しく学校に通っている。

最後に、④です。コロナ禍ではありますが、本校生徒の頼もしさを感じます。行事の縮減や活動の制限はあっても、生徒たちは工夫を図りながら行事に取り組んだり、生徒会活動を進めたりしています。日々の活動にも誠実に取り組む生徒たちを認め、評価し、達成感や成就感につなげていきたいと考えます。



なお、いずれのアンケートにおいても、肯定的な回答の割合を見て「よし」とするのはなく、「あまりそう思わない」や「そう思わない」を注視して、一人一人の生徒をしっかり

と見ていきたいと思います。また、学校に対するご意見は、今回のアンケートだけでなくお気づきになられたところで学校へお寄せいただけたらと思います。



2月の校長講話（リモートにて実施） ～学校目標の一つ「敬愛」に寄せて～

先月、大相撲初場所で御嶽海が優勝を果たし、大関に昇進しました。テレビを見ていた私は飛び上がって喜び、感激して涙も流してしまいました。なぜ彼を一押しで応援するのかというと、長野県出身というのはもちろんですが、その所作が好きなんです。今度、機会があったらぜひ見てほしいのですが、勝ちが決まった時、相手の足が土俵から一歩出れば、それ以上決してダメ押しはしません。土俵の外や下まで思い切り押し出したり、はたき落としたりせず、逆にそっと相手を支えるような格好をします。土俵下に落ちてしまった力士、落ちそうな力士にはさりげなく手を出しています。私は、これは御嶽海は戦う相手を大事にし、相手に敬意を払っていると思っています。

さて、今回みなさんに考えてもらいたいことがあります。それは、「仲間と関わる時に大切にしていることはどんなことですか」ということです。みなさん、どうでしょう。ちょっと近くの人と話をしてみてください。全校で共有できないのは残念ですが、実は先月、受検に向けて何人かの3年生と面談する機会があり、その時に同じ問いを投げかけました。いくつかを紹介しながらみなさんと考えたいと思います。

ある3年生は、「誰とでも、わけへだてなく話すこと」と答えてくれました。ある3年生は「特定の人と孤立しないように、周りを見て関わること」と答えてくれました。またある3年生は「相手の話を一生懸命に聞くこと」と答えてくれました。ある3年生は「自分が嫌だと思うことは、相手にしないこと」と答えてくれました。そしてある3年生は「グループ活動などでは、自分から話をすること」と答えてくれました。

どれも素晴らしい心がけで私は、なるほどなあと感じさせられました。どれも大切ですし、そこに順番をつけることはできません。そして「どうしてそう考えるの？」とたずねて話を聞く中で、共通することも見えてきました。それは相手の立場に立って心がけているということです。「もし私が孤立したら悲しいから」「私が嫌なことされたら嫌だから」。「私も話を一生懸命聞いてくれた時、とても嬉しかったから」。などです。相手に自分を重ね、相手の気持ちを察しての心がけ、これは、みなさんのこれまでの経験を通して、身につけたとても大事な力だとも言えます。さらに、実際に行動に移している人は、強い意志や気持ちをもっている人だろうと思います。相手を大事に考え、それを行動に移しているという点では先ほど話した御嶽海と同じですね。

ただ、相手意識だけを全てにしてしまうと、自分を犠牲にしてしまうことになり、ストレスがたまり、心が苦しくなったり辛くなったりします。相手を大切に考えることと同時に、自分も、自分の心も大事にしてください。相手の思いや気持ちを察しながらも自分の思いや気持ちを上手に発信していくことも大事だと思います。お互いを大切にすること、学校目標の「敬愛」にも通じることですが、ぜひ考えてみましょう。今日も、最後までしっかりと話を聞いてくれてありがとうございました。